

TSURUOKA OMOSHEZO

鶴岡の魅力を国境を越えて共に発見 ×発信 山形県立致道館高等学校2年 地域活性化Bゼミ

目的

- ・まだ知られていない鶴岡の魅力を発見し、発信する
- ・実際にツアーが出来るゼミという機会を利用し国際交流を通じて異文化を学び、英語力を身につける

先行研究

鶴岡の若者や観光客が中心都市に集中している



- ・鶴岡市の人口減少
- ・経済や観光地のインフラの発展が遅れる
- ◎鶴岡のまだ知られていない魅力で解決する？
→ 飴善先生、山形副市長の講話より

仮説

- ・外国人留学生とツアーや意見交流をする
→ 鶴岡の観光地としての課題が明らかになる
→ 異文化を学び、英語力を身につけられる
- ・定番観光地以外を紹介する
→ 鶴岡の魅力を再発見できる
- ・ガイドブックを制作する
→ 鶴岡の魅力を発信できる

ガイドブック

昭和女子大学と共同で鶴岡市のガイドブックを制作
鶴岡のオススメスポットを日本語と英語で掲載している



結論

- ツアーやガイドブックを作成して英語力が向上しただけでなく鶴岡の魅力を再発見し発信することができた
- 自然や伝統文化が鶴岡の魅力であり観光客誘致につながる

ツアーについて

10月19日に山大農学部、昭和女子大学の留学生計8人と一対一で英語を用いながらガイドツアーを実施

玉泉寺

- ・季節の花や歴史の説明
- ・禅や抹茶の体験
- ・庭園や寺内の散策
→ 正座などなれないこともあったようだが留学生に楽しんでもらえた



FOODEVER



- ・宗教的に食べられないものへの配慮
- ・庄内豚を使った蕎麦
- ・メニューの英語表記あり

富樫ろうそく店

- ・世界に一つだけのろうそく作り
- ・完成したろうそくを見せあって楽しめた



ツアー振り返り

- ジェスチャーでガイドでの足りない表現を補うことができた
- 留学生は自然や伝統文化に特に興味があり、観光地としての鶴岡の可能性を感じた
× 英語対応していない場所が多く、ガイド無しで外国人が回るのは大変だと感じた

- × ガイドを行うには英語力が足りなかった
- × 国内外への発信はできなかった
→ 次年度へ引き継ぎ

